

ハクセル美穂子の  
ポリティカル・テーマ

Growing  
Together!  
みんなで創る「いわて」

いわて  
県政レポート  
2021  
冬号

岩手県議会議員

# ハクセル 美穂子

MIHOKO  
HUXEL

100年先も  
「いわて」が「いわて」であるように、  
みんなで創る「いわて」



### ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ  
◎家族/アメリカ人の夫、4人の息子(中2、小6、小5、小2)  
◎職業/英会話教室経営  
◎趣味/読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり  
◎学歴/雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]  
◎経歴/平成9年 雫石町役場入庁  
平成17年 夫とともにアメリカへ移る  
平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任  
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選  
令和元年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区2期目の当選

f ハクセル美穂子オフィシャルFacebook  
<https://www.facebook.com/mihokopage/>



### ハクセル美穂子 これまでの活動

2020年  
9～10月

- ◎9月29日～10月27日/  
9月定例会が開かれました。
- ◎10月7日/  
定例会一般質問登壇

9月定例会は、前年度決算の審議が行われる会期の長い定例会です。今回、私は一般質問に登壇。知事のリーダーシップと市町村長とのコミュニケーションのあり方について、重点的に質問しました。ウラ面のアセンブリーニュースで一般質問の詳しい内容をお伝えします!



遠野市長と



花巻市長と



北上市にて



西和賀町長と

2020年  
11月

- ◎11月4日/商工会法施行60周年  
記念式典商工会岩手県大会
- ◎11月6日/東日本大震災津波復興  
特別委員会現地調査

久慈湾における魚介類養殖事業「久慈港水揚げ銀鮭」と積水化学工業(株)が久慈市で取り組んでいる廃棄物由来エタノール製造実証事業について調査しました。



久慈港の水揚げ銀鮭

- ◎11月13日/岩手県電業協会  
創立50周年記念式典
- ◎11月17日～27日/  
県内市町村要望調査

いわて県民クラブとして県内33市町村を訪問し、それぞれの地域課題について市町村長さま方と懇談をしました。私は、住田町・西和賀町・北上市・遠野市・雫石町・花巻市・滝沢市の7市町村を担当。県と市町村がより良い関係を築いていけるように、各市町村長さま関係者さまから頂いたご意見を今後質疑に活かしていきます。

2020年  
11～12月

- ◎11月25日～12月8日/  
12月定例会が開かれました。
- ◎12月5日/宮古盛岡横断道路 開通式
- ◎12月12日/三陸沿岸道路  
洋野種市IC～階上IC 開通式
- ◎12月13日/一般国道340号  
押角峠工区 開通式
- ◎12月19日/三陸沿岸道路  
田野畑北IC～普代 開通式

12月はたくさんの道路の工事が終わり、供用が始まりました。いずれの道路・トンネルも、県民皆さまの生活を支え、愛され、活用されますよう心から期待しています。



押角峠工区 開通式



宮古盛岡横断道路 区界～築川 開通

- ◎11月23日/  
県民と県議会との意見交換会 久慈市

県北地域と地域振興をテーマに県北地域で活躍中の地域おこし協力隊の皆さんと意見交換をしました。現役の方、卒業後に地域で起業された方、それぞれ率直で貴重なご意見を頂きました。

## 9月定例会での私の一般質問の内容についてご紹介します!

さる10月7日、私は通算6度目となる一般質問に登壇いたしました。

今回の質問の目玉は、「知事のリーダーシップ」。私は日頃から、県政運営は市町村とのより良いパートナーシップがなければうまくいかないと考えています。県は、県民に最も近いところで実際の行政活動を行っている各市町村の取組みを支える役割を担っています。例えば観光政策では、県内の観光コンテンツを集約し県外に情報発信するなどの対外的な取組みを県が担っていますが、個々の観光コンテンツの磨き上げは市町村の取組みです。どのような目標に向かって進むのか、地域の立地条件などを加味すると取組むべき方向性も多種多様になります。広い岩手県は、市町村の立地条件もさまざま、だからこそ、知事と市町村長、トップ同士のコミュニケーションが



大切だと私は考えるのです。

今回の一般質問では、市町村長と幹部職員が県と一堂に会して要望を伝える市町村要望の県側の受け方について取り上げました。現在は、市町村長が出席するこの市町村要望を知事ではなく、各振興局長が受け取る仕組みを採用しています。

私は、市町村の課題を直接話す事ができ、しかも1時間程度の時間をかけ地域の課題解決の必要性を伝える事ができる場がほかにない事から、この要望会で知事が市町村長それぞれと語る場を設けるべきであると考えています。このことは県内の市町村長さま方からも改善の要望がある重要な事項です。

今回の答弁で、知事は、市町村からの要望は各振興局長が受け、そしてそれを県庁内で知事に集約するという今現在のあり方こそが法的にも正しい方法であると考えていることを述べました。しかし、知事が考えるあり方が正しいと地方自治法に定められているわけではありません。私は、市町村要望のあり方はそれぞれの県独自の考え方が反映される部分であり、これを改善し、市町村の声をよく吸い上げる事ができる体制づくりを知事が進めるべきであると考えますので、引き続き、この点については様々な機会の中で訴えてまいります。



### そのほかに

- 岩手県の子どもの医療費助成を高校まで引き上げ
- 土地改良事業の更なる推進を図るための支援の拡充
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響を受けた中小企業への支援策の充実
- 山村振興計画にかかる税制優遇措置条例の制定
- 発達障害児支援にかかる教育と医療の連携推進
- ICT機器の教育現場での活用方策の充実
- 奥産道の活用策と三石山登山道の整備

について、質問をしました。

岩手県議会ホームページから私の一般質問の様子を動画で見ることが出来ます。ご興味のあるトピックから構いません。ぜひ、動画チェックしてみてください!

ハクセル美穂子  
議会中継ページ  
はこちら



### 2021冬号コラム COLUMN

**今春から、県内で学ぶ子どもたち一人につき一台タブレット端末が導入されます。ICT機器を利用した新しい学習方法が県内各地で取組まれます。**

**GIGAスクール構想**とは、全国の国公立私立の小中学校の児童生徒一人一台のパソコン端末や校内の高速通信環境を整備する文部科学省の計画です。新型コロナウイルスの流行を受けて計画が前倒しで進められており、2020年度中に県内すべての自治体で配備を終える予定です。また公立高校でのパソコン端末整備についても、生徒一人一台端末を持ち学習する環境整備が進められています。

これまで私は、**不登校児童生徒の学習支援**のために新しい技術を活用して、教育機会を作る取組を進めるべきだと訴えてきました。くしくも新型コロナウイルス感染拡大による休校時の学習支援としてパソコン端末による遠隔授業の効果が認められ、全国的な配置につながりました。

現在進められている遠隔で授業を受ける事ができる体制の構築によって、休校時の学習支援策のみならず、不登校児童生徒や医療ケアを受けている児童生徒が離れた場所からでも学校の授業をクラスメートと一緒に受

ける事ができるようになります。実際に遠隔授業を行った全国各地で、遠隔での授業に参加したことにより学校での集団生活に慣れる事ができたという事例や、不登校児童生徒の心のハードルを下げ、学校生活に戻りやすくなったなどの効果がみられています。

ICT機器による学習環境の整備は、広大な面積を持つ岩手県内の学習環境をさらに充実させ、あふれる自然環境と充実した学習環境の整備により子どもたちの健やかな育成に大きく寄与するものと考えています。

**今後の課題**は、教える側である先生方がどのように効果的にこのICT機器を学習に活用していくことができるのか、そのためにどのようなトレーニングを進めていくべきかです。これについても、花巻市にある岩手県立総合教育センターにおいて先生方の研修のあり方やその内容等を研究しています。

私たち県議会においても、計画の進捗状況を注視し、効果的な学習環境が県内各地で作られていくよう引き続き積極的に議論していきます。

**こちらの政策は、10月7日に行った私の一般質問でも取り上げています。教育委員会の取組みについても聞くことができますので、ご興味のある方はぜひ岩手県議会ホームページ動画中継をご覧ください。**

【他の議員さん方の動画もありますので、ぜひチェックしてみてくださいね!】

ハクセル美穂子の活動や県政レポートの内容のみならず、身の回りの出来事の中で県行政に関わる事を「質問したい!」「現場の思いを伝えたい!」など、ご質問・ご意見はこちらまで↓



ハクセル美穂子  
ホームページ